令和元年度茅ヶ崎市バリアフリー基本構想協議会

第２回市民部会資料

－目　次－

報告事項
　・令和元年度第１回市民部会の振り返り・・・・・１
協議事項
　・心のバリアフリー普及啓発について・・・・・・３

報　告　事　項

令和元年度第１回市民部会の振り返り

令和元年度第１回市民部会の振り返り

提 案　**普及啓発ツールの作成や今年度のスケジュールについて**

・どんな媒体を作成し、普及啓発を図るか
・どんな内容にするか
・どうしたら手にとってもらえるか
・今年度末完成のスケジュール感でよいか

・今年度末作成では遅い
・議論ばかりで進展がない
・完璧を求めず、まず進めよう
・反応を確認し試行錯誤しながら進めよう
・継続が重要
・継続によりツールが増える
・対象者は市民
・自治会の回覧や市報が効果的

議論

・気づきのきっかけが重要
・多くの機会に触れることが重要
・費用がかからないツール媒体
・日常生活をもとに、当事者のうれしかった声（事例）を活用
・肯定的な表現で
「・・してください」よりも、
「・・してくれてありがとう！」が良い

方 向 性　**第２回市民部会で、普及啓発ツール（案）を確認し、部会終了後から啓発活動を開始しよう！！**

・斉藤部会長と事務局との間で案を作成、次回までに提案
→ツール媒体（広報紙など）の確認、普及啓発ツールの内容（事例）の整理
・普及啓発ツール（案）について、各委員へ照会

協　議　事　項

心のバリアフリー普及啓発について

心のバリアフリー普及啓発について

■直ぐに取り組む

独話方式(Machine to Man)

- 広報ちがさき
  欄外
  １１月１日号より
- デジタルサイネージ
  茅ヶ崎駅
  自由通路南口側
  １０月

対話方式(Man to Man)

- ポストカード
  出来次第順次

■今後順次取り組む

- デジタルサイネージ
  市役所本庁舎
  １階ロビー
- デジタルサイネージ
  市役所本庁舎
  １階EVホール
- ホームページ
  茅ケ崎市BF基本構想
  推進協議会
- 広報ちがさき
  枠内
- ケーブルテレビ
- ソーシャルメディア
  （ツィッター、インスタグラム）

心のバリアフリー普及啓発について

広報ちがさき（欄外）

・11月1日号より開始
・各月1日号、15日号で掲載
※1日号は多色刷、15日号は2色刷

⇒統一なデザインで発信

１面使用

⇒見出し、呼びかけ文を記載

ex.

あなたの“ひと声”にありがとう！！

まちを歩いていて「あの人、大丈夫かな？」と思うことはありませんか。体に障がいを持つ私たちは１人で出来ないことがたくさんあります。でも困っている時のあなたの“ひと声”は、ありがとうの感謝でいっぱいです。

２面使用

⇒説明、見出し、呼びかけ文を記載

ex.

１面

誰もが安心して出かけられるまちへ

茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会市民部会では、市民の皆さまに「ありがとう」の感謝を伝えていきます。

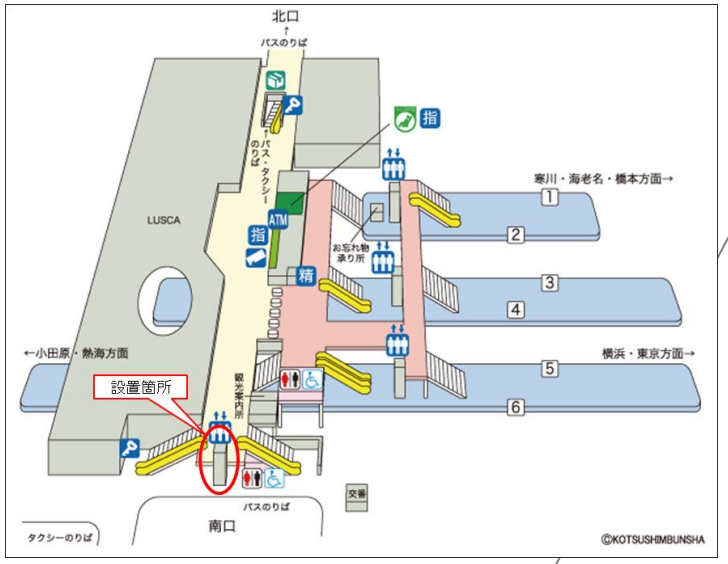
２面

あなたの“ひと声”にありがとう！！

まちを歩いていて「あの人、大丈夫かな？」と思うことはありませんか。体に障がいを持つ私たちは１人で出来ないことがたくさんあります。でも困っている時のあなたの“ひと声”は、ありがとうの感謝でいっぱいです。

心のバリアフリー普及啓発について

デジタルサイネージ（茅ヶ崎駅自由通路南口側）

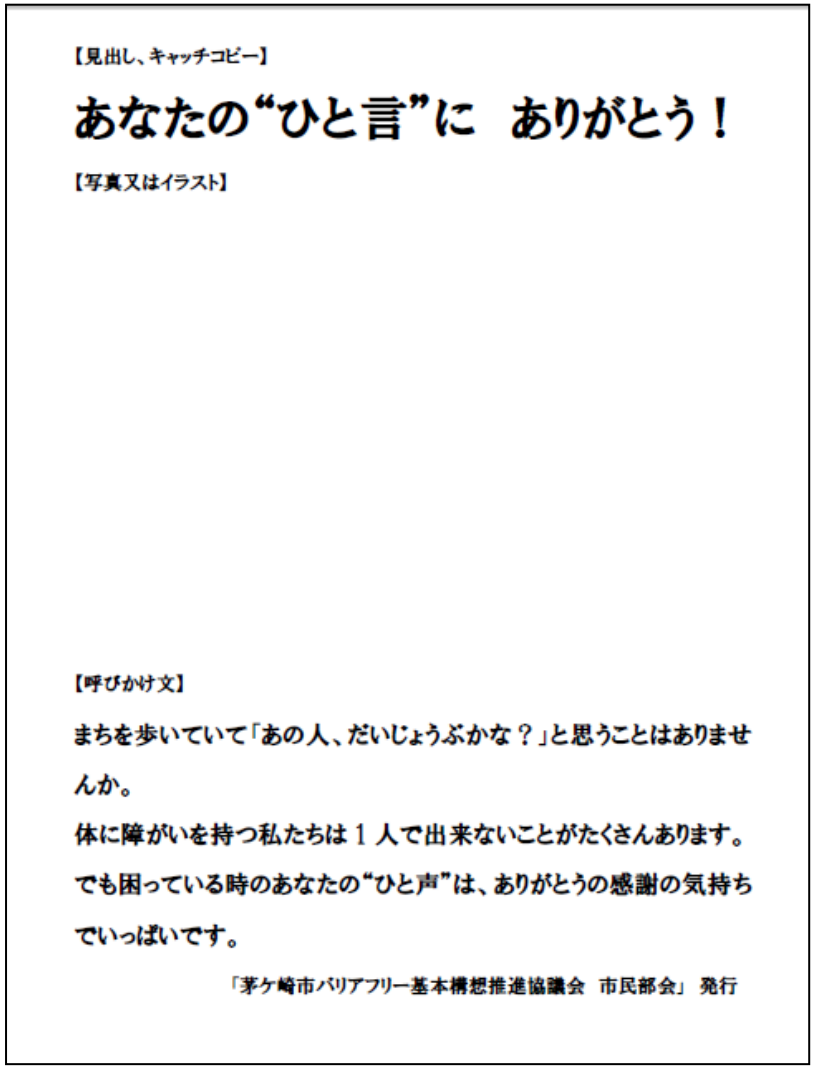


デジタルサイネージの設置状況

・10月より開始
⇒30秒毎に1回10秒程度（右側の枠）
・駅利用の通行人を対象
⇒見出し・呼びかけ文を記載
⇒イラスト等も活用
⇒交通系に関する内容が適当

心のバリアフリー普及啓発について

ポストカード



【見出し、キャッチコピー】

あなたの“ひと言”に　ありがとう！

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

まちを歩いていて「あの人、だいじょうぶかな？」と思うことはありませんか。

体に障がいを持つ私たちは１人で出来ないことがたくさんあります。

でも困っている時のあなたの“ひと声”は、ありがとうの感謝の気持ちでいっぱいです。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

・出来次第順次
・写真やイラストは、市民部会員で作成
・駅周辺での街頭での配布
・公共施設や協力店舗での窓口配布

【視点１】「ありがとう！」と、感謝の言葉から始まる問題提起で市民への共感を高める
【視点２】わかりやすく問題を提起し、次に身近なバリアの具体例を紹介し、最後に心のバリアフリーへの対応（重要！）
【視点３】ポストカード形式により、わかりやすさ、読みやすさ、伝えやすさを追求
【視点４】手渡しにより、口コミ対話方式での理解促進を目指す
【視点５】カード形式（B6版又はA5版）により、誰にも瞬時にアピールでき、シリーズの継続発行も可能

⇒対話型となり、対面配布なども可能

■各委員からの意見（９月２０日現在）

広報ちがさき（欄外）

・発信方法としては最良だが、目にとまる人がいるか。

・欄外は目立たないが、２面使用にして「矢印」を付けることで自然と本文に目が届く。

・欄外だけではなく、枠内に写真等を使った記事を載せられると効果的。

・広報自体のアクセシビリティが感じにくい。このような広報で「心のバリアフリー」を市民に発信し、共感を得られるか。

・継続的に掲載することで「心のバリアフリー」という言葉、目的、活動内容などの気づきや認知度を着実に高めていく必要がある。

・ポストカードの「見出し」、「キャッチコピー」と同期した内容とし、ポストカードの配布時期と連動させることにより、効果が上がるのではないか。

・枠内の“連載”は、継続的に実施することによるスペースの確保や調整等の労力を要するため、“特集”として年１回程度、心のバリアフリーの目的や実施内容とその成果を掲載して、安心して過ごせるまちづくりのために“こういうこともしているんだ”と認識してもらうことも必要。

■各委員からの意見（９月２０日現在）

デジタルサイネージ（茅ヶ崎駅自由通路南口側）

・多数の目に止まり、即効性がある。

・公共施設に設置されているデジタルサイネージ（本庁舎EVホール）も利用してはどうか。

・目に止まる工夫（大きな字、絵、目に飛び込むような内容）が必要。

・見やすい絵が良い。妊婦さんの事例では、マタニティーマークを付けた方がよい。誘導ブロックの事例では、子どもより大人を対象とした絵に変更した方がよい。

・対象者が駅及びバス利用者に限られるとしても、継続的に色々な事例を掲載することや訴えたいキーワードや状態の簡潔に強弱をつけて絵で表現することは、効果がある。

・事例として「ヘルプマーク」も取り入れた方が良い。「ヘルプマーク」は、外見から困難さが見える人だけでなく、外見から見えにくい困難さのある人が周囲から認知・援助を得やすくなる。

・「ヘルプマーク」は、令和元年７月時点で１道２府３５県で導入している。（神奈川県含む）
茅ヶ崎市内でも公共施設などで「ヘルプマーク」が配布されていたり、東京都や神奈川中央交通のバス車内で掲示されている。

■各委員からの意見（９月２０日現在）

ポストカード

・「配布」より、「広報紙に同封する」の方が効果的。

・誰が、どこで、どの様な機会で手渡しするか。　⇒　アピールの仕方が変わる

・来庁者が多い、市民課窓口に置くのはどうか。

・どんどん作って配布したい。

・「心のバリアフリー」は共生社会のあり方を提唱しているので、「ありがとう！」から始めるメッセージに違和感がある。

・市民部会名の発行で市民の理解が得られるか心配。

・交通機関や道路等のバリアフリー化（茅ヶ崎市内）の状況写真を合わせて作成することも必要。

・“心のバリアフリー”ポストカードで色々なケースを考慮して、“ありがとう”から始まる「見出し・キャッチコピー」と「写真又はイラスト」及び「呼びかけ文」で具体的に訴える方法は、効果的でよい。事例の一つにヘルプマークをいれてほしい。

■各委員からの意見（９月２０日現在）

その他

・市HPで取組を周知することがよい。

・HPは、自身で検索し閲覧する方が多いので、記事に興味を持つ人が多い。

・１階ロビーは、当事者が登場する映像が作れたら良い。→ケーブルTVでも活用可能

・市HPのTOPページのバナーに載せると、見てもらえる人が増える。

・広報ちがさき、市HPのアクセシビリティの向上を推進してほしい。

・茅ヶ崎市バリアフリー基本構想における心のバリアフリーの位置付けの認識を再確認したうえで、障がい者と健常者がお互いに壁を作らずに社会生活をともにする社会、生きづらさを感じない社会にしていく努力をしていかなければならない。

・昨年度の障がい者団体からの声には、「ヘルプマーク」に関する記載がなく、まだまだ認知度が低い状況であり、今後の普及啓発が必要である。

心のバリアフリー普及啓発について

新たな提案　①市ホームページ

TOPページのバナー
↓
茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　へリンク
心のバリアフリーの項目　新規作成・随時更新

（イメージ）

バナー選択　協議会のページへ移動

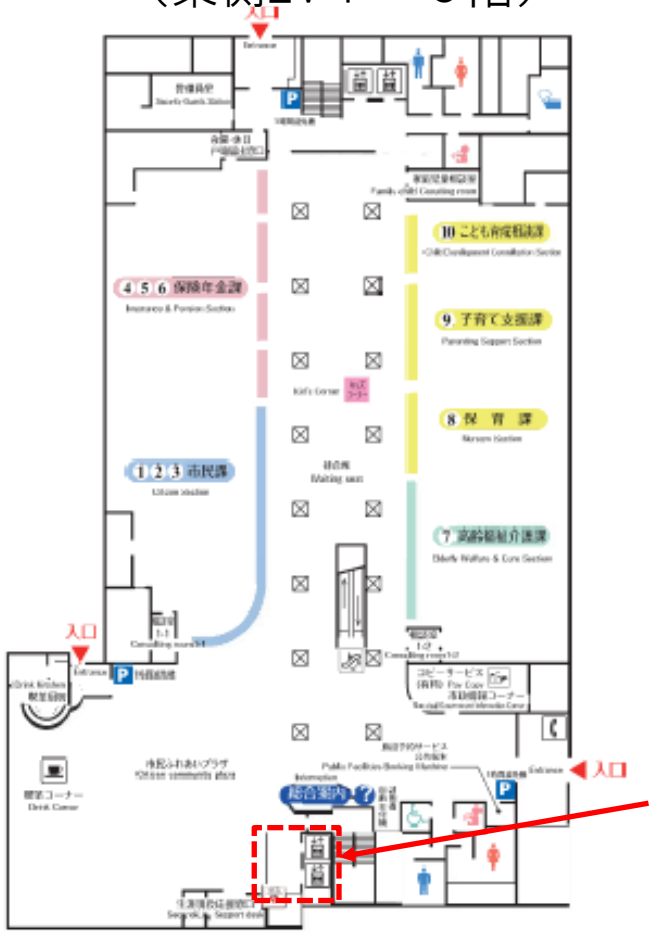
心のバリアフリー
に関することを
情報発信していく

心のバリアフリー普及啓発について

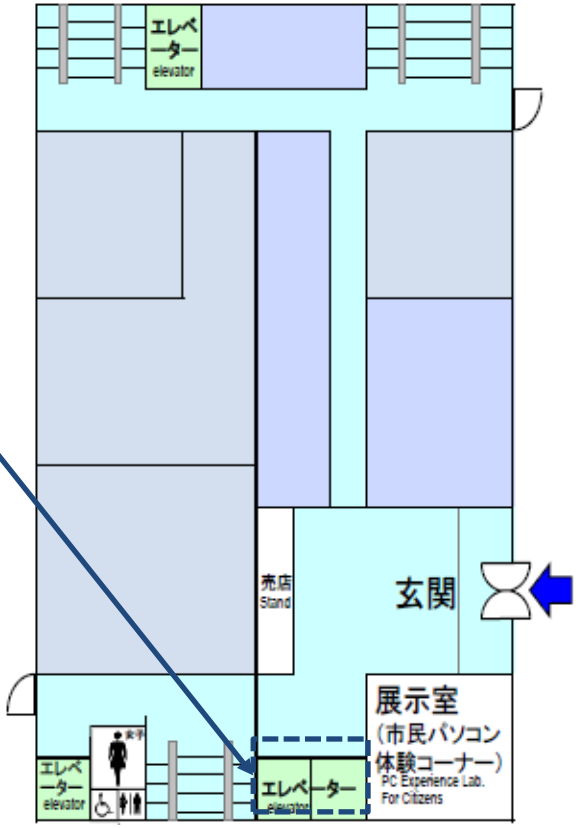
新たな提案　②デジタルサイネージ（市役所EVホール）

・本庁舎・分庁舎　一括放映（1回20秒）
※１サイクルの時間は時期により変わる

本庁舎
（東側EV１～６階）



分庁舎
（東側EV１～３階）



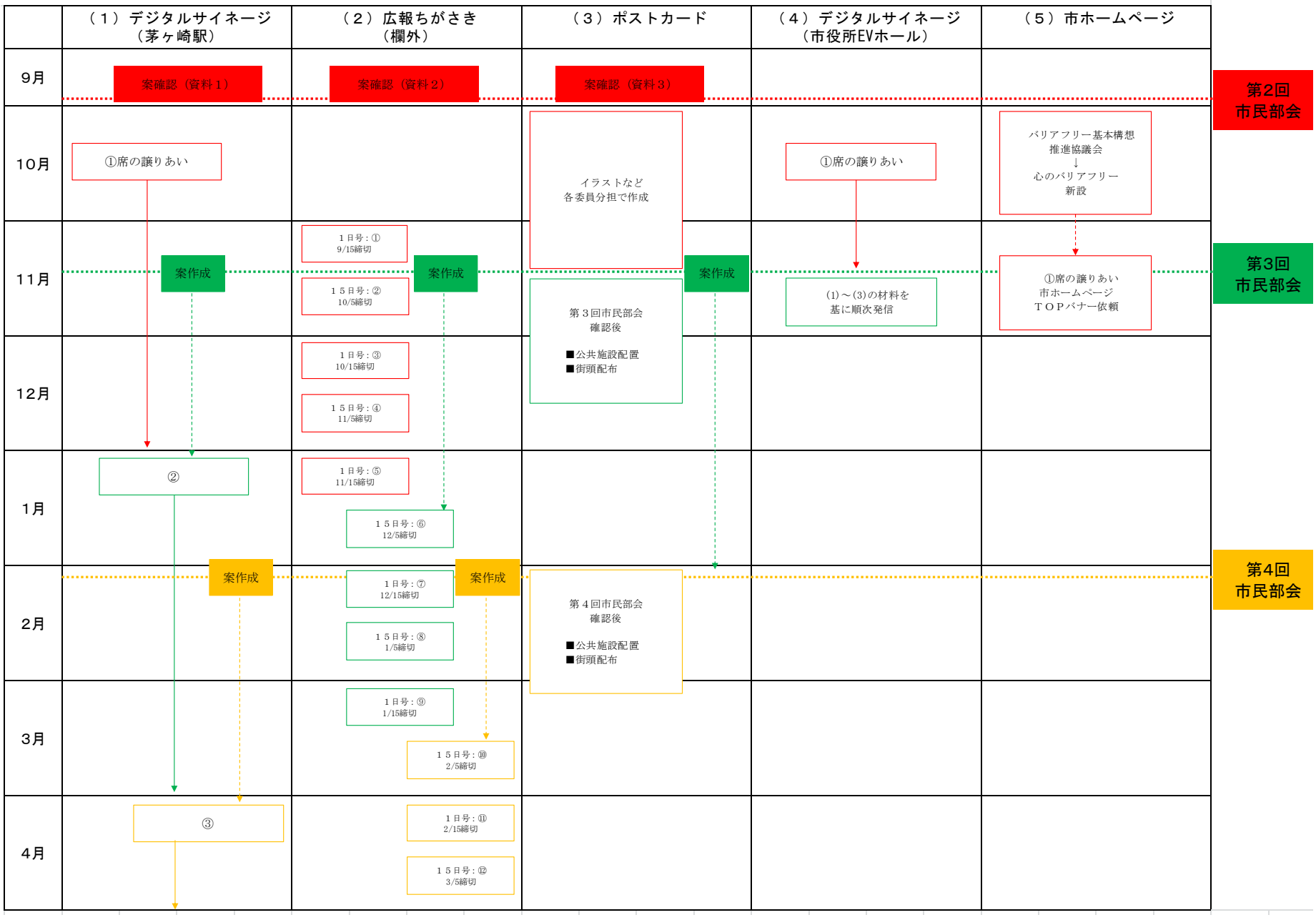
心のバリアフリー普及啓発について

スケジュール

・次頁のとおり

■第２回市民部会での確認事項
→10月から実施する啓発ツール、その内容について
(1) デジタルサイネージ（駅）
「①席の譲り合い」でよいか
(2) 広報ちがさき（欄外）
２面での見せ方、1月15日号分まではポストカード（案）をベースでよいか
(3) ポストカード
記載内容の確認、イラスト（写真）の作成方法
(4) デジタルサイネージ（市役所）
「①席の譲り合い」でよいか
(5) 市ホームページ、Topバナーへの掲載
事務局で「心のバリアフリー」に関するHPを開設し、Topバナーとリンク
イラストは「①席の譲り合い」でよいか
→市民部会委員と事務局との作業分担の整理について

■第３回市民部会までの作業確認

■今後の市民部会の開催予定時期
→第３回市民部会　１１月中旬
→第４回市民部会　　２月上旬

心のバリアフリー普及啓発について